

浜マーケットから見る磯子の歴史

磯子区は、昭和2年（1927年）10月1日に誕生した横浜市の行政区で最も長い歴史を持つ区の1つです。今回のコラムでは、この歴史ある磯子区で戦後の発展をリードした『浜マーケット』をご紹介します。

磯子区久木町にある浜マーケット。地域に根付いた暖かい雰囲気を感じられるこの商店街の成り立ちは、終戦後に民家を取り除いたままで空き地として放置されていた疎開道路に、野菜や菓子・日用品などをみかん箱の上に並べて商いを始めたことがきっかけでした。¹⁾

区民に愛される浜マーケットは、戦後の闇市が始まりだったのです。



昔の浜マーケットの様子
(浜マーケット公式サイトから引用)

当時は、磯子区役所が八幡橋近くの国道16号線沿いに位置し、現在よりも磯子区役所をはじめとする行政機関の位置と浜マーケットの位置が近かったため、磯子区を中心地として毎日大いに賑わって、本牧や間門などの遠方から訪れるお客もいました。

昭和27年（1952年）に、磯子商業協同組合として登録され、翌年、商標を広く募集した結果、いま私達に馴染み深い「浜マーケット」という商店街の名称がつけられました。商標の募集には、

なんと九州方面からも応募があり、²⁾ 浜マーケットは全国にも知れ渡る商店街へと成長していったのです。

そんな発展の一途をたどっていた浜マーケットですが、マーケットの中心部十数軒を焼失した大きな火災をはじめ、数々の困難に直面してきた過去もあります。



近年の浜マーケットの様子
(撮影：(株)フォトスタジオアライ 新井秀幸)



浜マーケット休憩スペースにある
ダイヤル式公衆電話
(撮影：磯子区総務課統計選挙係)

しかし、浜マーケットはその度に困難を乗り越え、今なお営業を続けています。これは、地域とのつながりを強く持ち、昔ながらの人情味あふれる暖かい雰囲気を残しながら、新たな時代のユニークなお店も立ち並ぶ、いまとむかしが融合した情緒ある商店街だからと言えるでしょう。

令和4年（2022年）に磯子区は区制95周年を迎えました。その長い歴史を磯子区民と共に生きてきた浜マーケットに、ぜひ1度足を運んでみてはいかがでしょうか。

引用：1) 磯子区制五〇周年記念事業委員会『磯子の史話』（非売品）（昭和53年6月30日）

2) 小玉 晶『磯子のれきし』（非売品）（昭和49年3月20日）

写真『浜マーケット公式サイト：横浜市磯子区の、懐かし～いレトロな商店街』
<https://www.hama-market.com/>

参考：半澤正時『写真集 磯子・金沢いまむかし』株式会社郷土出版社（平成5年2月24日）

【お問合せ】 磯子区総務課
電話 750-2316 FAX 750-2530